

# 日本粉末冶金工業会 第2回 MIM 講習会のご案内

開催日：2023年3月3日（金）

申込締切：2023年2月17日（金）

配信ツール：Teams

MIM 講習会は、金属射出成形業界の啓蒙、教育及び改善事例発表による業界全体の底上げを目的に開催いたします。本講習会は MIM の基礎を習得いただける講演と普段聞くことが出来ない MIM 製造における改善事例発表紹介の2つのプログラムを中心に構成しました。特に改善事例発表は普段聞くことができない貴重な情報であり自社の改善のヒントにお役立ていただけるものと考えております。また他にも技術紹介、原料の最新情報及び市場動向に関する紹介も用意しております。MIM 関連企業以外の方でも聴講いただけますので、多数の参加いただきますようお願いいたします。

## 講演題目及びスケジュール

時間	講演題目	講師
13:30~13:33	講演に関する注意事項	JPMA 事務局
13:33~13:35	ご挨拶	JPMA・射出成形粉末冶金委員会 委員長 中山 英樹
13:35~14:40	MIM 基礎編	東京都立大学 長田 稔子
14:40~15:00	Fe系耐熱合金焼結品の高温強度向上	株式会社アテクト 西田 康大
休憩		
15:10~15:30	MIM 工程バーンノズルサイジング不良低減	株式会社ファインセンター 佐々木 邦治
15:30~15:50	大同特殊鋼(株)の粉末事業について	大同特殊鋼株式会社 星野 伸英
15:50~16:10	現場作業の改善事例の紹介	大阪冶金興業株式会社 田中 秀樹
16:10~16:30	MIM 委員会活動及び市場動向について	日本粉末冶金工業会 綿貫 裕介

【参加費】 会員1（注1） 3,000円  
          会員2（注2） 5,000円  
          非会員      8,000円

（注1：射出成形粉末冶金委員会委員会社，注2：注1以外の正会員・賛助会員）

【申込方法】 工業会 HP 又は下記 URL または QR コードから申込下さい。

<https://forms.gle/SRDAAZ7GV3WFpZ2f7>

※複数名申込・一括請求ご希望の場合は [工業会 HP](#) から申込を下さい。

【締切日】 2023年2月17日（金）

【問合せ先】 〒110-0016 東京都台東区台東 3-42-7 松田商事ビル6階

TEL 03-5846-8722 E-mail info@jpma.gr.jp

【その他】・申込後、受領メールを返信いたします。メール返信が届かない場合は、問合せ先へご連絡下さい。

- ・2月末頃、URL 及びテキストを申込者様へ配信いたします。
- ・申込後のキャンセルは2月17日までとなります。以降のキャンセル料は100%請求となります。
- ・当日の回線や接続機器の不具合により聴講できない場合、当会として一切の責任は負いません。事前にインターネットの回線速度及び接続機器の動作検証は、聴講者自身で確認下さい。接続に関する問合せの対応はいたしません。



# 日本粉末冶金工業会 第2回 MIM 講習会 講演要旨

MIM 基礎編	東京都立大学・特任助教 長田 稔子 (日本粉末冶金工業会・射出成形粉末冶金委員会 特別委員)
金属粉末射出成形法 (MIM) は、3次元複雑形状品がニアネットシェイプで高密度・高強度で作製できるプロセスとして幅広く活用されています。この製法について歴史、特徴、他製法との比較、生産工程など基礎的な内容を紹介します。	
技術紹介 Fe系耐熱合金焼結品の高温強度向上	株式会社アテクト 西田 康大
従来の MIM 焼結品は高温領域にて粒界すべりが原因による破壊が起こりやすい。また、鑄造と比較して焼結体は結晶粒が小さいため粒界面積が多く、粒界滑りが発生しやすいため、高温強度が鑄造品よりも劣る。アテクトでは、小さな結晶粒を大きな粒子に粒成長させ粒子と粒子を強力に結着させた転移強化技術を紹介する。	
改善事例① 現場作業の改善事例の紹介	大阪冶金興業株式会社 田中 秀樹
MIM の各製造工程 (成形・焼結・矯正・検査等) で過去に取り組んだ省エネにつながる改善事例のいくつかを紹介する。	
原料粉 PR 大同特殊鋼(株)の粉末事業について	大同特殊鋼株式会社 星野 伸英
当社は 1984 年に粉末事業を発足し、様々なニーズに応えるべく、お客様との共同開発、アトマイズ技術の自社開発や生産能力増強に取り組んできた。ここでは、ソリューションのきっかけになることを願って、MIM 粉末に関することに限定せず、当社の取り組み内容を紹介します。	
改善事例② MIM 工程ベーンノズルサイジング不良低減	株式会社ファインシンター 佐々木 邦治
ターボチャージャー部品のサイジング工程における不良が多く生産現場において全数検査工数の発生と金型破損による金型費の負担が困りごととして取り上げられている。サイジング工程の金型の動きを改善し、全長バラツキの影響を受けない様にダイフロート化に成功し不良低減した事例を紹介する。	
MIM 委員会活動及び市場動向について	日本粉末冶金工業会 綿貫 裕介
日本粉末冶金工業会 (JPMA)・射出成形粉末冶金委員会 (MIM 委員会) の主な活動を紹介する。また、MPIF (北米粉末冶金工業会) の受賞製品を事例にトレンド紹介並びに MIM 市場について地域別に売上高、需要別及び材質別に概況を紹介する。	